

2020年 大学入試改革

何が変わるのか？

センター試験が

「大学入学共通テスト」に

大学ごとに個別試験の改革

センター試験が

「大学入学共通テスト」に

センター試験が「大学入学共通テスト」へ

2本の柱とされていた改革が共に見送りとなりました。

① ~~国語と数学で「記述式問題」の導入~~

※12/17の文部科学省の発表により、実施が無期限延期となりました。

② ~~英語は4技能、資格・検定試験を活用~~

※11/1の文部科学省の発表により、実施が2024年度まで延期されることになりました。

※「マークシート式」って今までと同じ？

▶ **英語の共通テストは、筆記とリスニングが同配点**

→ **発音・アクセント・文法・語句整序等は出題されず**

▶ **「思考力・判断力・表現力を一層重視した作問への見直し」が行われる予定。**

- ・ 正解が一つに限られない問題
- ・ 複数の段階にわたる判断を要する問題
- ・ 学んだ内容を日常生活と結びつけて考えさせる問題
- ・ 複数のテキストや資料を提示し、必要な情報を組み合わせ思考・判断させる問題
- ・ 分野の異なる複数の文章の深い内容を比較検討させる問題
- ・ ほかの教科・科目や社会との関わりを意識した内容を取り入れた問題 等々

大学ごとに個別試験の改革

大学ごとの個別試験の改革

名前も中身も変わります

大学ごとの個別試験の改革

名前が変わります

▶ 試験の名称の変更

一般入試	➔	一般選抜
A O入試	➔	総合型選抜
推薦入試	➔	学校推薦型選抜

大学ごとの個別試験の改革

中身が変わります

▶ 「多面的・総合的評価」の導入

一般選抜：学力評価重視➡学力評価 + 主体性等の評価

総合型選抜：主体性等の評価重視➡主体性等の評価 + 学力評価

学校推薦型選抜：主体性等の評価重視➡主体性等の評価 + 学力評価

*学力評価：要は、テスト・試験による評価

*主体性等の評価：要は、調査書(学校の成績、課外活動等)・志望理由書・小論文・面接等による評価

※主な大学の調査書等の活用状況

▶ おおむね

「出願要件だが、合否判定には利用しない」方向

※2019/5/23時点で、既に文書で予告している主な大学

・早稲田大・慶應義塾大・上智大・明治大・立教大・青山学院大

※すでに拡大している個別大学入試における 英語の資格・検定試験の活用

大学入試採用数 **187**大学

利用大学率 **24.3%**

※採用率は「英検」が92.3%と圧倒的

※大学入試での活用パターン

得点換算・出願資格・加点・判定優遇

※活用のポイント

- ①複数回の受験チャンス！
- ②得点換算で点数保証！
- ③一つの資格・検定試験の結果で多くの大学に出願